

令和2年度に係る

公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果

令和3年8月

公立大学法人福知山公立大学評価委員会

目次

I	令和2事業年度の業務実績評価について……………	1
II	評価結果	
1	全体評価……………	4
2	大項目別評価……………	6

《公立大学法人福知山公立大学評価委員会委員》

区分	職名等	氏名
委員長	京都府立大学名誉教授	青山 公三 <small>あおやま こうぞう</small>
委員長職務代理	大阪府立大学 事務局 大学運営部長	大久保 正明 <small>おおくぼ まさあき</small>
委員	社会保険労務士・行政書士 菊田学美事務所	菊田 学美 <small>きくた まなみ</small>
委員	学校法人共栄学園理事長	中井 博之 <small>なかい ひろゆき</small>
委員	細見税務会計事務所所長	細見 均 <small>ほそみ ひとし</small>

I 令和2事業年度の業務実績評価について

公立大学法人福知山公立大学評価委員会は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第3項の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学（以下「法人」という。）の令和2事業年度における業務の実績について、「公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針」及び「公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領」により評価を行った。

1 評価に関する基本的な考え方

- (1) 評価は、法人の教育研究の特性や運営の自主性、自立性に配慮して行うものとする。
- (2) 評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の組織・業務運営等に関して総合的に行い、改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資するものとする。
- (3) 評価は、法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとする。
- (4) 評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況やその成果をわかりやすく示し、市民への説明責任を果たすものとする。
- (5) 評価方法については、必要に応じて工夫・改善を行うものとする。

2 評価方法

- (1) 評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- (2) 評価は、「項目別評価」及び「全体評価」により行った。
- (3) 「項目別評価」は、「小項目別評価」及び「大項目別評価」により行った。

小項目別評価

年度計画の記載項目（小項目）ごとの進捗状況又は実施状況を確認し、評価を行った。

評価	進捗状況（実施状況）
5	年度計画を大幅に上回って実施している（特に優れる若しくは顕著な成果がある）
4	年度計画を上回って実施している（上回る若しくは十分な実施状況）
3	年度計画を概ね実施している（実施）
2	年度計画を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）
1	年度計画を大幅に下回っている（特に劣る若しくは実施していない）

大項目別評価

小項目別評価の結果を踏まえ、6つの大項目（8区分）ごとに、中期計画の進捗状況について評価を行った。

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
③地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
(4) 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置
(5) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置
(6) 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

評価	評価基準	判断の目安
S	中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が4.3以上であり、かつ、業務の進捗状況や特記事項の内容に特筆すべき進捗や取組みがあると評価委員会が認める場合。
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「A」相当と認める場合。
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」相当と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「B」相当と認める場合。
C	中期計画の達成のためには進捗が遅れている。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」相当と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「C」相当と認める場合。
D	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.8以下であり、中期計画の達成のためには重大な改善事項があると、評価委員会が認める場合。

全 体 評 価

「項目別評価」の結果を踏まえ、法人の中期計画の達成に向けた業務の進捗状況を総合的に勘案して評価を行った。

評価	評価基準
S	中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。
C	中期計画の達成のためには進捗が遅れている。
D	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

II 評価結果

1 全体評価

(1) 評価結果

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

(2) 総評

法人は、教育のまち福知山における「知の拠点」として、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、福知山公立大学を設置し、及び管理することにより、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的としている。

第1期中期目標期間5年目の事業年度となる令和2年度の業務実績の特筆すべき事項として、

- ① コロナ禍において、学生の安全安心な修学環境の継続を最優先とし、遠隔授業の導入、経済的に困難に直面している学生が修学継続できるよう学費支援、授業料等の納付期限を延長したことなど柔軟な対応をしたこと。
 - ② 授業評価アンケートを実施し、コロナ禍による遠隔授業の効果を含め、授業の検証を実施したこと。また、アンケートを活用し授業評価の高い教員の授業を参観するなど、教員相互での教育の質の担保に努めたこと。
 - ③ 定期的に学生の状況把握やサポートを行われており、就職内定率も99.3%を達成し、公務員合格者数・合格率は目標を上回っていること。
 - ④ 福知山市とともに大学の中長期の方向性を定める構想として新たに「福知山公立大学将来計画」を策定したこと。
 - ⑤ 年度計画に外部資金獲得の数値目標を設定した上で、その目標値を大幅に上回る資金を獲得したこと。
- などが挙げられる。

以上のような状況や、6つの大項目の8区分中7区分が「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）、1区分が「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）となっている状況を総合的に勘案し、全体評価は、「B」（中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。）と評価する。

しかしながら、大学院の設置に向けて業務量の増加が見込まれる中、教職員の不足が依然として課題である。厳しい財政状況であることは理解しているが、教職員に過度の負担が増えるようであれば教職員等の増員を含めて、引き続き検討いただきたい。

また大学認証評価において努力課題として挙げられている体育館の整備をはじめ、中長期展望のもとキャンパスの充実・発展に向けて市との協議を継続的に行われたい。

【大項目別評価結果】

大項目	評価結果	S	A	B	C	D
		中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である	中期計画の達成に向け順調に進捗している	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している	中期計画の達成のためには進捗が遅れている	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	B			○		
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	A		○			
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 3 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置	B			○		
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	B			○		
第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	B			○		
第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	B			○		
第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	B			○		
第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項	B			○		

2 大項目別評価

第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

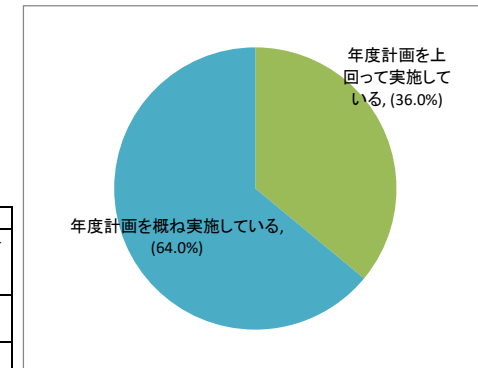
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.4

(1) 評価理由

小項目別評価において、25項目中9項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、16項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。評定平均値が3.4となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	25	0	9	16	0	0
	構成比 (%)	(0.0%)	(36.0%)	(64.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- コロナ禍にあって計画通りの教育を実施するとともに授業アンケートの活用や入試区分ごとのGPA分析など内部質保証と自己点検評価体制の強化など総合的な教育の質の向上に努めた。
- 大学の一層の発展に向けて広く学外・地域の意見を集約するため、市と共同で「福知山公立大学将来計画策定有識者会議」を設置するなどし、情報学部を中軸とする大学院の設置や更なる地域連携の深化を目指した「福知山モデルの構築」などを柱とする「福知山公立大学将来計画」を策定した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
 - 全学で遠隔授業体制を整えて概ねシラバス通りの授業を実施し、授業アンケートの結果からも一定の満足を得るなど修学機会の確保に努めた。
 - 遠隔授業の導入、感染症対策の徹底により学生及び教職員に感染者を出さなかった。
 - 各種経済的支援制度の導入や学食の無料券配付、カウンセラーの増員、市と連携したアルバイト紹介など様々な対策を実施した結果、経済的理由による退学者を一人も出さなかった。
 - 制約された就職活動環境にあって学生へのきめ細かい支援を行い就職内定率99.3%、近年力を注いできた公務員への就職も好成績（公務員第一志望者（受験者）21人中合格者13人、合格率61.9%）をあげている。

(課題となる点等)

- コロナ禍での学生募集活動の制約も含め様々な要因があるなか、一般選抜の志願倍率が昨年度の4.7倍から3.6倍に下落し、国公立大学の平均志願倍率（4.6倍）を下回ったことについて、今後に向けて分析と対策が求められる。

2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

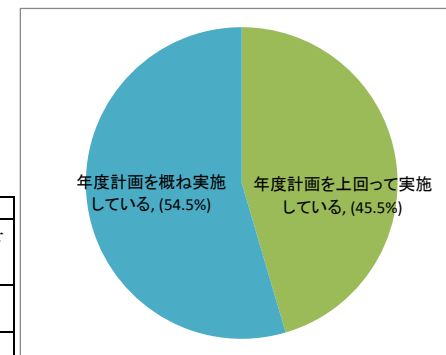
評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.5

(1) 評価理由

小項目別評価において、11項目中5項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、6項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。評定平均値が3.5となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	0	5	6	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(45.5%)	(54.5%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 情報学部開設に伴う研究領域の拡大や組織を挙げての外部資金獲得強化に取り組むことで、年度計画目標を大幅に上回る資金を獲得した。
- 大学と地域をつなぐ「北近畿地域連携機構」の組織改編を行い、地域研究、市民学習、まちかどキャンパスの充実に向けて体制を強化した。
- 情報学部開設初年度からプログラミング教室や小中学校でのGIGAスクール導入支援など地域の情報教育の貢献、地域防災強化に向けた様々なプロジェクトの推進など、大学のリソースを活用した地域貢献に積極的に取り組んでいる。

(課題となる点等)

- 外部資金を獲得していくためには、研究支援専門のスタッフの配置など法人全体で体制の構築に取り組まれない。
- 地域研究拠点としての機能強化及び地域経営学部と情報学部の文理連携を学生に実感できるかたちで実現していただきたい。

3 地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置

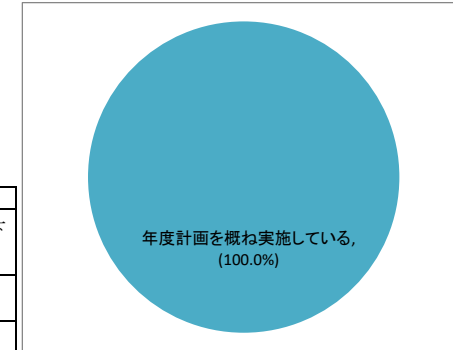
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、10項目の全項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	10	0	0	10	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 市民学習やまちかどキャンパスなど地域貢献活動にあたり、感染防止対策のためオンライン配信システムを活用した結果、業務の効率化だけでなく遠隔地からの参加者や多世代の市民など新たな層の獲得につながった。

(課題となる点等)

- 地域課題をより詳細に把握・分析したうえで、地域と連携した取組を行い、より多くの知見を地域社会に還元していただきたい。

第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

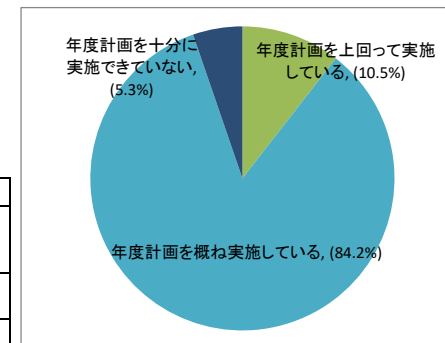
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、19項目中2項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、16項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となった。1項目が「2」（年度計画を十分に実施できていない）という評価結果であるものの、評価平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	19	0	2	16	1	0
	構成比(%)	(0.0%)	(10.5%)	(84.2%)	(5.3%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 学生が安全・安心に修学を継続できること最優先に掲げ、学長を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、各種ガイドラインの策定、学生への支援、様々な感染防止策を迅速に実施した結果、大学関係者の感染を防ぐことができた。

(課題となる点等)

- 教員評価、任期制度、多様で柔軟な任用制度など人事制度の早期確立が求められる。
- 教職員の不足が依然として課題である。大学院の設置等、教職員に過度の負担が増えるようであれば増員を含めて、引き続き検討いただきたい。

第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

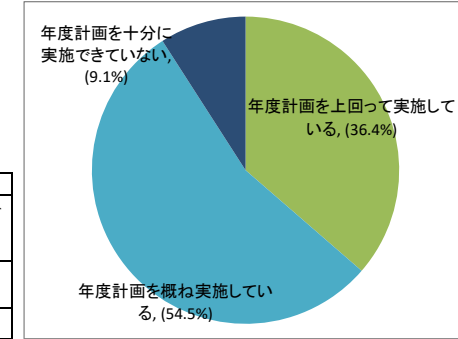
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.3

(1) 評価理由

小項目別評価において、11項目中4項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、6項目が「3」（年度計画を概ね実施している）、1項目が「2」（年度計画を十分に実施できていない）という評価結果であるものの、評価平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	0	4	6	1	0
	構成比(%)	(0.0%)	(36.4%)	(54.5%)	(9.1%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 科学研究費採択向上のための教職協働や間接経費の学内配分要領の制定など、外部資金獲得に向け全学的な体制が整えられ、年度計画目標を大幅に上回る資金を獲得した。(目標値9,000千円 実績19,450千円)

(課題となる点等)

- 志願者の減少傾向に対し、中長期的な視点で財務的側面からも検討・検証が求められる。

第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置

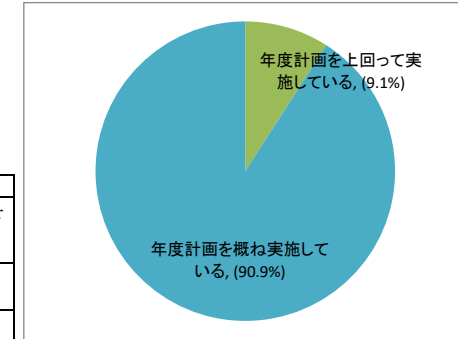
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、11項目中1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、10項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	0	1	10	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(9.1%)	(90.9%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 内部質保証システムについて、内部質保証の方針の改定、内部質保証体制図の策定、自己点検・評価委員会規程の改正、自己点検・評価実施要領（自己点検・評価方針を含む。）の策定を行って、全学的なPDCAサイクルの体制の見直しを行うとともに、自己点検と評価を開始している。

(課題となる点等)

- 特記事項なし

第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

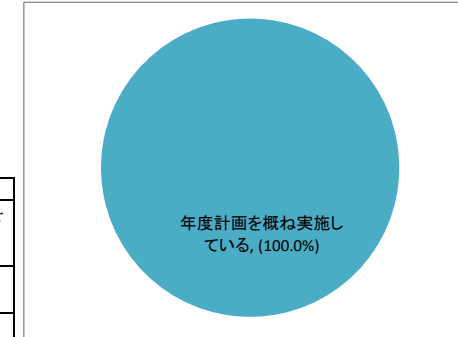
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、7項目の全項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	0	0	7	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし

(課題となる点等)

- 特記事項なし

第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

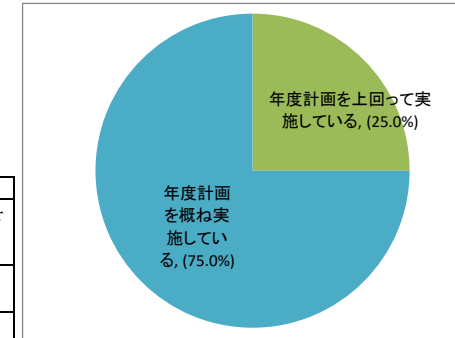
評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

評価平均
3.3

(1) 評価理由

小項目別評価において、4項目中1項目が「4」（年度計画を上回って実施している）、3項目が「3」（年度計画を概ね実施している）の評価結果となり、評価平均値が3.3となっているため、大項目別評価としては、「B」評価であり、中期計画の達成に向け概ね順調に進捗していると認められる。

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	4	0	1	3	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(25.0%)	(75.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 市からの財政支援を受け、開学以来の課題であった学生の福利厚生施設の整備・充実を図るとともに、長寿命化計画を策定し、4号館施設の設備更新に加え使用不能であった厚生棟及び警備員室の解体工事を実施し、今後のキャンパスの充実に向けて取り組んだ。

(課題となる点等)

- 大学認証評価において努力課題として挙げられている体育館の整備をはじめ、中長期展望のもとキャンパスの充実・発展に向けて市との協議を継続的に行われたい。